

蒸気タービン：設計～製作の最新動向

現在の工業製品の設計/製作現場では、製品に高い付加価値を付与する試みが成されています。一例として、製品のライフサイクル全体を一元管理する PLM (Product Life Cycle Management) ERP (Enterprise Resource Planning)、あるいは、部品の共通化によるモジュラー設計や見積の高速化/高精度化等が挙げられます。

本セミナーでは蒸気タービンを例にとり、受注型製品における PLM の具現化、モジュラー設計、自動見積システム、シミュレーションと実機計測について紹介します。

日 時：2018 年 1 月 16 日(火) 10:00～17:30 (9:30 開場)

会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス 62 号館 W 棟 1 階大会議室 (東京都新宿区大久保 3-4-1)

参加費：会員 32,400 円、非会員 43,200 円、学生 5,400 円 (税込み・セミナーテキストを含む)

時間	テーマ	内容	講師(敬称略)
10:00 ～ 10:50	回転機械に求められる設計～製作プロセスの合理化 PLM の具現化～	商品企画、見積、入札、受注後の基本設計、詳細設計～製作～試運転における受注型製品の PLM, ERP についてご紹介致します。	太田正人 MHPS
11:00 ～ 12:30	モジュラー設計の実例：固変分離の重要性	固変分離の基本的な考え方とモジュラー設計につき実例を踏まえて紹介します。	大野宗久(東芝) 太田正人(MHPS)
昼休み			
13:30 ～ 15:00	先端 PLM 事例の紹介①	シーメンスが考えるデジタルライゼーションの世界が、どの様に役立つか事例を交えながら紹介します。	山本宏則 シーメンス
15:10 ～ 16:40	先端 PLM 事例の紹介②	発電プラントでの膨大な実機データの取得とトラブル予知技術につき紹介します。また、当該技術の重要性について論じます。	新井信行 GE
16:50 ～ 17:30	【座談会】 PLM の目指すところ	回転機械における PLM の方向性、目指すところを先進メーカーの意見を聴取しながら模索します。 オーガナイザー：田沼唯士(帝京大学) 講師：山本宏則(シーメンス)、新井信行(GE)、田崎陽一(MHPS)	

※プログラムは都合により変更することがありますのでご了承ください。

- ・ 申込方法：E-mail または FAX で、①参加者名、②連絡先住所・電話番号・Email、③社名(学校名)・所属、④会員/非会員の別を明記の上お申し込み下さい。お申し込み後請求書と受講票を郵送します。
 - ・ 参加費は事前に、銀行振込にてお支払い下さい。
 - ・ 振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金 1142994 一般社団法人 ターボ機械協会
 - ・ 申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル
ターボ機械協会事務局 (TEL: 03-3944-8002、FAX: 03-3944-6826、E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)
 - ・ 申込期限：定員になり次第締切ります。申込後のキャンセルはお断りしております。
- ※ ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。「本セミナーのターボ機械協会 CPD ポイントは中級 6 ポイントです。」

第 135 回ターボ機械協会セミナー 蒸気タービン：設計～製作の最新動向 目次

1. 回転機械に求められる設計～製作プロセスの合理化 PLM の具現化

講師：太田正人 (MHPS)

- 1.1 PLM の定義と意味
- 1.2 ERP の定義と意味
- 1.3 蒸気タービンの受注～設計～製作までのプロセスの見える化
- 1.4 受注型製品は量産品と何処が異なるのか？ETO (Engineering to Order) 概念の導入

2. モジュラー設計の実例：固変分離の重要性 講師：大野宗久 (東芝)、太田正人 (MHPS)

- 2.1 東芝 ESS の事例紹介
- 2.2 富士電機と MHPS の事例紹介
- 2.3 ETO 製品の特殊性と BOM, BOP の導入について

3. 先端 PLM の紹介① 講師：山本宏則 (シーメンス)

- 3.1 インダストリ 4.0 とデジタルエンタープライズ
- 3.2 エネルギー業界におけるデジタルライゼーション事例

4. 先端 PLM の紹介② 講師：新井信行 (GE)

- 4.1 予兆検知技術の重要性について
- 4.2 GE 社で採用している IOT を活用した予兆検知技術の説明
- 4.3 予兆検知技術の導入事例について

5. 座談会 PLM の目指すところ

回転機械における PLM の方向性、目指すところを先進メーカーの意見を聴取しながら模索します。

オーガナイザー：田沼唯士 (帝京大学)

講師：山本宏則 (シーメンス)、新井信行 (GE)、田崎陽一 (MHPS)

宛先 : Fax. 03-3944-6826 一般社団法人 ターボ機械協会 受付係

(〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26,

TEL: 03-3944-8002, E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)

ターボ機械協会 第 135 回セミナー (平成 30 年 1 月 16 日 火曜日)

「蒸気タービン」参加申込書

参加者	氏名① 所属 (部署名) 氏名② 所属 (部署名) 氏名③ 所属 (部署名) 氏名④ 所属 (部署名)
請求書・受講票 発送先	〒 ご住所 会社名 ご所属 ご担当者名 電話番号 E-mail
会員・非会員	会員 o r 非会員 (いずれかに○をつけてください)

上記 名の参加を申し込みます。

* ご記入頂の個人情報について、ターボ機械協会関連案内 (入会・講習会・書籍) のお知らせのために使用することがございます。